

米欧回覧

第 4 号
編集・発行
米欧回覧の会
事務局

映像講演会、国の内外で盛況・・・

— 第一回の例会から —

「米欧回覧の会」の第一回例会が、七月六日午後六時十五分から国際文化会館で行なわれた。会は定刻に浅沼氏の司会で始まり、最初に四月発会以来の主な活動についてそれぞれプロモーター役を勤めた各氏から報告があり、その後、泉氏より挨拶並びに本例会についての趣旨説明があった。

★アメリカ力報告：浜地道雄氏

世界一周クルーズ船「飛鳥」での洋上セミナー(全五回)を終えて四月二十八日ニューヨークについた泉氏は、二十九日の昼にジェトロで、夜にはジャパンソサエティでスライド講演を行なった。ジャパンソサエティの会合にはプリンストン大学の歴史学教授で岩倉使節の研究者でもあるマーチン・コルカット氏が出席しモデレータ役をつとめ活発な質疑も行なわれた。

席の盛況ぶりであった。ここではメリーランド大学の歴史学教授で岩倉使節の研究者でもあるマリリン・メイヨさんが紹介者となり、アメリカ編の英語版(約六十数分)の映像を上映した。

さらに五月二日、十一時からワシントンの米国議会図書館でアジア部門主催の会が行なわれ、ここでも立ち見があるほどの状況だった。

五月四日にはボストンの日本人会主催により河東総領事夫妻も出席しておこなわれ、使節が二度までも訪れ大歓迎を受けた土地だけに参会者の感慨もひとしおの様子だった。

★佐賀報告：山本季司氏

「国内での第一回の発表会は是非久米邦武の出身地である佐賀でやりたい」との願いは、佐賀新聞社の中尾社長とのご縁もあって、予想外に早く叶えられ、六月一日の午後佐賀市内のアバンセホールでダイジェス版の上映並びに泉氏の講演が行なわれた。新聞社だけに事前のPRも行き届き、サブタイトルも「佐賀藩士・久米邦武の見た世界」とあって地元の人々の関心は高く、当日三百人収容の会場に入りきれず立ち見や場外のテレビでみる人もでる始末であった。



また地元大学の教授や有力者からのコメントや質疑もあって大盛況であった。

★日本記者クラブ報告：林茂雄氏

プレスセンタービルにある日本記者クラブのホールで六月二十八日五時半からスライド講演が行なわれた。出席者は記者クラブのOB主体であるが海外経験の豊富なメンバーも多く、泉さんのスピーチも要を得ていて好評だった。ただ質疑の時間についてはクレームの声も聞かれた、もう少し時間の余裕をとるべきだったと思う。

「米欧回覧の会」は、四月六日に発足し現在会員は百四十名に達しております。北は札幌から南は鹿児島まで会員は全国にわたっており、また職業、キャリアも多彩で、これだけ多くの方々がお仲間になってくださったことはまことに有難く嬉しいことでもあります。これもみなさんのお蔭でありましてこころより感謝申し上げます。

より広く、より深く

泉 三郎氏の挨拶から

ただ、まだ「映像」をみていない方もありますので、本日は最初にダイジェス版のアメリカ編を上映し、それからテーマ別に抜粋した原文(配布資料)をもとに若干の説明を行なうことにしたいと思います。

そして五分ばかりのコーヒープレークをはさんで、そのあとはコメントや意見を交換する時間とします。これはかねてからの望みである「自由に語りあう時間」への試みであります。なるべく多くの方々から発言がなされることを願っています。

さて、「米欧回覧の会」には「岩倉使節の旅」と「米欧回覧実記」を素材にしてそれを「広く知らせる活動」とより「深く知る活動」という二つの側面があります。本会ではそれを同時並行的に目指したいと思っておりますが、いまご報告いただきました各各地でのスライド講演は「広く知らせる活動」でありまして、これは会員有志のご尽力により、発足から日も浅いにもかかわらず内外で大きな成果をあげつつあります。

それからもう一つの方向である「深く知る活動」については、とりあえず例会

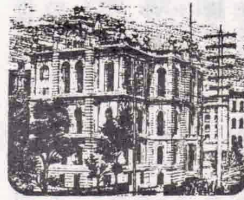


岩倉使節の見たアメリカ

……『米歐回覧実記の抜粋』を通して（配布資料から）



ワシントン市中の日本領事館



東京の米領事館

(一) 広大な国、自然風土への驚異（風土）——極東の島国から——
 凡ソ大陸ノ地方ハ、原野ノ広キ、山脈ノ縷々セル、一モ我日本ニ較ヘテ説ト難シ、如何トナレハ、我日本ハ海上ノ孤島ニテ、山脈乱錯シ、平原広野ト譚ツヘキ地ナシ、関八州奥羽ノ地ハ、我邦ニアリテハ寛曠ノ野ナレトモ、大陸地ニアレハ、平地の最狭少ナルモノタリ、我日本ハ一ノ山脈ニテ成タリトモ謂ヘシ。

(二) 新しい国、開拓、移民（歴史）——古い歴史ある国から——
 米國ハ、歐洲人民ノ開墾地ナリ、歐洲ニテ自主ノ精神ニ逞シキ人、己カ不羈獨立ノ智力ヲノベ、新ニ一大生業ヲ興サント志セハ、其游刃余リアル、米國ノ広土ニ向ヒテ、開墾ヲ試ム、是此國ノ開ケシ原由ニテ。（中略）
 因テ万国ノ移民ヲ招集ス、近年歐米ノ各国ヨリ、移住ノ民ハ、年ニ四十万人ニ上下ス、米國開拓ノ効ハ、此數ノ倍殖スルニアルト云、猶且足ラス、之ヲ都邑ノ私生ニ資リ、甚シキハ亞弗利加ニ赴キ、黒奴ヲ獵獲シ来ルニ至レリ、人口ノ國利ニ関シ至宝タルコト、是ニテ明証スルニ足ルナリ。

(三) 文明の利器 蒸気車と電信（技術）——駕籠と飛脚の国から——
 夫電信線ノ發明ニテ、千里ノ間モ、頃刻ニ問答スヘシ、郵便ノ法備ハリテ、遠隔ノ地モ、數日ニ使書ヲ取換スヘシ、早飛脚ノ仕組ニテ、奴丁ヲ勞セス、物ヲ遠地ニ送致スヘシ、其他郵船アリ、領事館、銀行ハ、各国ノ港ニ派出シ、生済ノ道ニ於テ、便ヲ謀ル、一ニシテ足ラス、加此ナラサレハ、今日ノ際ニ、富庶繁栄ノ國トナラント難シ。
 日本ノ人ハ、西洋ヲ想像スル、浮槎星漢ノ如シ、西洋ノ商人ハ、世界ヲ視ルコト、一都府ノ如シ、豈盛ナラスヤ。

(四) 産業と貿易（経済）——農業と内国商売の国から——
 米歐ノ民ハ、貿易ヲ以テ最要ノ務メトス、是東洋ノ人ノ目シテ商國ト謂フ所ナリ、然トモ其民大半ハ農ニ従事シ、少半ハ工ニ従事ス、商ハ百人中ニ五六人ニス、惟其農タリ工タルモノマテ、熱心ニ物産ノ裕通ニ注意シ、都会ノ地ハ協同シテ、商旅商船ヲ其地ニ輻湊セシメンコトヲ希フハ、東洋農國ノ夢ニモ想像シ及ハサル所アリ。

(五) 共和国の生靈（政治）——大名、武士の国から——
 自主ノ論ト、共和ノ議トハ、歐洲ニモ充タレトモ、多ク理上ノ談ニテ、其國ノ實際ニ適セス、只米國ハ純粹ノ自主民集リテ、真ノ共和国ナラス、其由来スル所ハ、固リ開國ノ元素ヨリス、此探風者ノ眼光ヲ着クベキ所ナリ。
 固リ人為ノ法ニ、完全ノモノアルヘカラス、人民ニ伸ヘハ、政府ニ縮ム、自由ニ切ナレハ、法度ニ慢ナル、一得一失、理ノ自然ナリ、米國ノ民ハ、此政中ニ化育セラレ、百年ニ垂レタレハ、三尺

参加者の声

これは会場の雰囲気を知っていたため、当日のコメントやアンケートから要約させていたものです。

・「実記」の抜粋を見て、私自身アメリカに最初に着いた時、同じようなことを感じたなと思いついてるところです。例えばいわゆる共和国のありかたについて、尊皇攘夷の君主国からやってきたものにとってアメリカの民主主義にその簡単になびくわけにはいかなかったろうなといったこともその一つです。

・日本に残ったリーダーと旅をしたリーダーがどこでどう違っていったのか。それが明治国家をつくる上でどういう影響をあたえたのかそのあたりを知りたくてやってみました。「映像」については是非オリジナル版をみたい。

・使節の人たちがいかに的確にものをみたくに驚きを感じます。一つ注目を申し上げれば「映像」が次ぎの画面に早く移り過ぎて余韻を楽しむことができないのが残念です。もうすこし間をおいてくださると自分でもイメージをつくりながら見られるのですが。



高士教 / 市街



高士教の風景

ノ童モ亦君主ヲ奉スルヲ恥ツ、習慣常ヲナシ、其弊ヲ知ラサルノミナラス、只其美ヲ愛シ、世界ヲ
 挙テ、己ノ国是ニ就シメントス、造次ノ談ニモ、其感触ヲソナフ、到底其思想ノ移スヘカラサル、
 純乎タル共和国ノ生靈ナリ。

夫官ヲ公選ニ挙ケ、法ヲ公同ニ決ス、其体面ハ実ニ公平ヲ極メタルニ似タリ、然レトモ上下院ノ
 選士ミナ、最上ノ才俊ヲ盈ルコトハ、到底得ヘカラス、卓見遠識ハ、必ス庸人ノ耳目ニ感セス、故
 ニ異論湧起ノ後ニ、同意ノ多キニ決スレハ、上策ハ廢シテ下策ニ歸スルヲ常トス、

教育とキリスト教(教育宗教) — 浮華の文芸と儒教の国から —
 西洋人ハ有形ノ理学ヲ勉ム、東洋人ハ無形ノ理学ニ驚ク、南洋国民ノ貧富ヲ異ニシタルハ、尤此
 結習ヨリ生スルヲ覺フナリ、

東洋ハ之ニ反ス、試ミニ上等ノ人ノ学ヲ所ヲ看ヨ、高尚ノ空理ヲサレハ、浮華ノ文芸ノミ、民
 生切実ノ業ハ、瑣末ノ陋事トシテ、絶テ心ヲ用ヒス、中等ノ人ハ守金奴トナラサレハ賭博流トナリ、
 絶テ財産ヲ興シ、不拔ノ業ヲタツル心ナシ、故ニ下流ノ賤民ハ、衣食僅ニ足り、一日ノ命ヲ偷ミ、
 呼吸スルノミ。

米國ノ紳士ミナ熱心ニ宗教ヲ信シ、盛ンニ小学ヲ興シ、高尚ノ学ヲ後ニシテ、普通ノ教育ヲ務ム、
 是其故ヲ察スヘシ、流民傭奴ノ頑魯ナル、其明善ノ心ヲ啓誘スルハ、敬神ニアラサレハ不可ナリ。
 「バイブル」ハ西洋ノ經典ニシテ、人民品行ノ基ナリ、之ヲ東洋ニ比較シテ語レハ、其民心ニ浸
 漬セルコトハ四書ノ如ク、其男女トナク貴重スルコトハ、仏典ノ如シ、欧米ノ人民ニ、尊敬セラル
 コト、其盛大流行ヲ東洋ニ於テ比較スヘキモノナシ、抑モ人民敬神ノ心ハ、勉勵ノ本根ニテ、品行
 ノ良ハ、治安ノ原素ナリ、國ノ富強ノ因テ生スル所モ此ニアリ。

自由と平等(風俗習慣) — 君子・士大夫と女子・小人の世界から —
 最モ奇怪ヲ覺ヘタルハ、男女ノ交際ナリ、夫婦交際ノ状ハ、日本ニテ、婦ノ舅姑ニ事ヘ、子ノ父
 母ニ事フ所ヲ挙ケ、夫ノ我婦ニ事フル道トナセリ、獨ヲ執リ履ヲ捧ケ、食饌ヲ饋リ、衣裳ヲ扞ヒ、
 下ルニハ扶ケ、上ルニハ助ケ、坐ニハ榻ヲ進メ、行クニハ器ヲ奉ス、少シク婦ノ怒リニアヘハ、愛
 ヲ起シ、敬ヲ起シ、俯伏シテ之ヲ詫テ、猶聽レス、室外ニ屏ケラレ、食スルコトヲモ得サルコトア
 リ、男女舟車ヲ同クスルトキハ、丈夫ハ起テ席ヲ讓リ、婦人ハ辞セスシテ其席ニツク、婦人座ニス
 スミ来レハ、衆ミナ起敬シ、同会ノ間ハ、容止ヲ慎ミ、声氣ヲ屏ケ、毎事婦人ニ先ヲ讓ル、婦人敢
 テ辞セス、座ヲ起テ入レハ、衆始メテ情容アリ。

後新約克ニ往来両回、昼夜夜行セシニ、車馬混雜ノ場、夜ニハ妖婦羅列ノ淫坊ト化シ、常ニ人ヲ
 シテ、備備トシテ自ラ戒メシム、察スルニ此府ハ、米國第一ノ繁華場ナルカ如ク、人氣モ、亦第一
 ニ不良ナルヘシ、新約克開化ノ裏表ト題スル書アリ、其説ク所ニヨレハ、府中悪習ノ多キコト、亦
 驚クニ足ルト云。

世界交際の和氣(外交) — 鎖国の島から —
 嗚呼此開明ノ際ニ當リ、鎖國ノ宿夢ヲ醒シ、世界交際ノ和氣ニ浴センコト、我日本ニアリテハ、
 皆人喫緊ニ心ニ銘セサルベカラサルナリ。

「映像」があつという間に終わっ
 てしまつて物足りない感じでした。
 ・「より深く」という点では今日
 の内容では物足りない。もっと突
 っ込んだ解説や議論があつてし
 べきではないか。

・例會にそれを求めるのは無理が
 ある：それをやるなら有志がグル
 ープをつくつて分科會のような形
 でやつたらどうか。

・「米歐回覽実記」のいいところ
 はトータルにもを見てるところ
 である。またこの會の特徴はいろ
 いろの職業やキャリアの方々が集
 まつて感想や意見をいい多角的に
 複眼でものをみられることである。
 だからあまり分科して専門的にな
 らないほうがいいのではないか。

・自由に語りあうのはいいが、テ
 ーマを絞るこゝでほしい。また、
 発言者もそこからはずれないよう
 に注意しなくてはいいけない。

・「米歐回覽実記」の原文を抜粋
 してこのような形で解説していく
 のはよいと思う。

「実記」はとつつきにくいし難し
 い。が、こうした形で原文の味わ
 いや格調の高い漢文に触れられる
 のはいい。この方式で「英仏編」
 「歐亞編」もやってもらいたい。

『米欧回覧の会』ご案内

趣旨 この会は「岩倉使節団」に興味を持ち、その記録である「米欧回覧実記」に関心を抱く人々の集まりです。この大いなる旅と「実記」はまさに「温故知新」の宝庫と言えます。

この素材を媒体にして歴史をふりかえり現代の直面する諸問題についても自由に語りあおうという会です。

会員 上の趣旨に賛同する人なら誰でも入会できます。

例会 年に4回くらい会合をもつ予定です。

事業 次のような活動をする予定です。

映像サロン・講演会・旅行会研究会・シンポジウムなど。年に4回程度機関紙を発行し、会員の意見発表、情報交換の媒体とします。

機関紙 幹事 会員の中から、代表1名、幹事数名を選び、運営を担当します。

会費 年会費3,000円とし、主として通信費および機関紙代に充当します。例会・研究会・講演会などについては、その都度の会費とします。

事務局 当面は『ミササ・オフィス』に置きます。

〒192 八王子市元横山町1-14-16
ミササ・オフィス TEL 0426-46-1949
FAX 0426-45-8700

入会申込

氏名・連絡先（自宅或いは勤務先の住所）
TEL・FAX 現職&キャリアを事務局までFAXまたは郵便でお送りください。
なお、年会費は郵便払込が便利です。
00180-2-580729

米欧回覧の会

米欧回覧の会

(関連催しスケジュール)

★ 第2回例会

テーマ 「岩倉使節の見た英国とフランス」
日時 9月7日(土) 13:00~17:00
•映像オリジナル版(英仏編)の上映
•「米欧回覧実記」抜粋解説
•コメント

場所 国際文化会館
会費 2,000円
申込み 電話またはファクスで事務局まで

★ 第3回例会

テーマ 「岩倉使節の見た欧州とアジア」
日時 11月23日(土) 13:00~17:00
場所 国際文化会館

★ 「飛鳥」上海クルーズ 洋上講演

主催 TMC(トップマネジメントクラブ)
日程 8月17日(土)~25日(日)

★ 英語版「スライド講演」

主催 KAISHA SOCIETY
日時 9月18日(水) 18:00~
場所 東京有楽町外国人記者クラブ

★ 府中「けやき寿学園」スライド講演

主催 府中市教育委員会
日時 9月24日(火) 10:00~12:00
場所 府中市生涯学習センター
問合先 0423-36-5700

★ 歴史ツアー「岩倉使節・米欧回覧の旅」

~以太利とドナウの旅 10日間~
主催 日通旅行(泉三郎氏・企画コーディネイト)
日程 10月4日(金)~13日(日)
料金 43,800円
問合先 日通旅行(渋谷旅行支店)
03-3476-7783(担当…岡部・山田・森)

＊編集後記

第一回の例会は試みの会でしたが、いくつかの反省があります。
まず参加者が予想外に少なかったことについて、一つには土曜の夜という時間帯、二つにはテーマの魅力、三つには内容について見えなかった部分が多かったのではないかと、などが原因と考えられます。
また、例会の運営そのものについてもいろいろ問題がありました。その理由としては二時間四十五分間にいろいろの事を盛り込もうとして無理が生じたこと、したがって「映像」も「解説」も短くて物足りない感じになったこと、またフリートークの時間についてもテーマにふさわしくない発言があったりしたこと、が挙げられます。
したがって次回の例会は時間も中身も極力改善をはかりたいと思います。
尚、来年度の活動の参考にさせていただきます。同封のアンケートにお答え下さいませうに。(幹事)